



Inclusive support

地域包括支援センター

行方市地域包括支援センター

☎0299-55-0114

いつまでも健やかに住み慣れた地域で生活していけるよう、高齢者やご家族の皆さんを、医療、保険、介護および福祉など、さまざまな面から総合的に支援します。

「在宅医療・介護連携推進事業」研修会を開催しました！

「在宅医療・介護連携推進事業」とは

高齢者が住み慣れた地域で、必要な医療・介護を受け、安心して自分らしい生活が継続できるように、医療と介護を一体的に提供できるよう医療関係機関と介護事業所等の連携を推進する事業

医療関係機関と介護事業所等が共通の学びの中で、互いの立場を理解することを目的に、潮来市と行方市合同で2月17日（金）に『在宅医療・介護連携事業』研修会を開催しました。

講師には、茨城県介護支援専門員協会理事で災害対策委員長の小野健悦先生をお招きして『介護事業所における業務継続計画（BCP）～感染症を中心に～』と題したご講演をいただきました。感染症拡大防止のためオンラインでの開催となりましたが、医療・介護関係者の方々に多くご参加いただきました。

※業務継続計画（BCP：Business Continuity Plan）…感染症パンデミックや風水害、地震などの大規模災害の発災時でも事前にあらゆるリスクを想定して事業継続をするために、「重要な事業を中断させない」「中断しても可能な限り短い時間で復旧させる」方針、体制、手順を示した計画のこと

潮来市と行方市合同の研修会は平成29年度から実施しており、認知症や災害、ACP（人生会議）などを様々なテーマを用いて、医療・介護関係者の研修や地域住民への普及啓発を行っています。今後も研修会等を通して、在宅医療・介護に関わる関係者で連携を取っていきたいと思います。

